

4年 国語	だんだん楽に 段落発見!～ヤドカリとイソギンチャク～	4年②
目標	段落どうしの結びつきを考えながら、「中」を意味段落のまとまりに分けることができる。 (読むこと)	
使用したICT機器類・教具等	タブレット端末、大型テレビ、HDMIケーブル	
思考ツール・プログラミング	クラゲチャート	

◆プログラミング的思考とのつながり

- ・クラゲチャートを用いて、いろいろな視点から理由や根拠を考え、書き出すことで、論理的に考え、説明したり説得したりする力を高める。

◆授業の実際

1 個の考えをグループで検討し、まとめる。

- 友達と段落の分け方や根拠が異なると、説得しようと自分の考えを積極的に伝える姿が見られた。
- クラゲチャートに書いた根拠の文章ではなく、友達に伝わる説明の仕方を考えたり、言葉を選んだりして、話し合いを進めてグループの考えをまとめることができた。



【個の学びをグループで共有、検討】

2 グループで検討した考えを、全体に伝える。

- グループで検討し、納得した考えとなっているため、自信をもって発表する姿が見られた。
- 他のグループの考えを聞き、自分たちと同じ考えのときは、大きくうなずいたり、異なるときは、教科書を見て確認したりし、主体的に他グループの考えを聞いていた。



【グループでの考えの説明】

3 よりよい段落の分け方と根拠を話し合う。

- 接続詞や「問い」と「答え」の文に注目したグループと、書かれている内容に注目したグループがあり、考えにずれが生じたため、互いに説得しようと、段落に分けた根拠を考え、伝えることができた。
- 形式段落⑥がどうなるのかを検討する中で、「問い」と「答え」の段落について、段落どうしの結びつきに気づくことができた。



◆実践を通して

- ・クラゲチャートにして、段落に分けた根拠をいろいろな視点で考え出すことで、意見を整理したり関連づけたりするなど、論理的に考えて、説明したり説得したりする力を高めることができた。子どもの表現や言葉では伝わらないことに関しては、教師がわかりやすくまとめるなどの支援があると、子どもたちの理解がさらに広がったと考える。
- ・段落を分けるときには、接続詞だけでなく、内容や段落どうしの結びつきなど、さまざまな根拠が考えられることを知ることができた。

